

ばい煙発生施設設置（使用、変更）届出書

年 月 日

(宛先)
大 津 市 長

届出者 住 所
氏 名
(電話番号)
〔 法人にあっては、その名称、代表者
の氏名及び主たる事務所の所在地 〕

〔 大気汚染防止法第6条第1項（第7条第1項、第8条第1項）
滋賀県公害防止条例第30条（第31条、第32条）
大津市生活環境の保全と増進に関する条例第52条（第53条、第54条） 〕 の規定により、
ばい煙発生施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		※整 理 番 号	
工場又は事業場の所在地		※受理年月日	年 月 日
ばい煙発生施設の種類		※施 設 番 号	
ばい煙発生施設の構造	別紙1のとおり	※審 査 結 果	
ばい煙発生施設の使用 又 は 管 理 の 方 法	別紙2のとおり	※備 考	
ばい煙の処理等の方法	別紙3のとおり		

- 備考1 ばい煙発生施設の種類の欄には、大気汚染防止法施行令別表第1又は大津市生活環境の保全と増進に関する条例施行規則別表第2第1項に掲げる項番号及び名称を記載すること。
- 2 ※印欄には、記載しないこと。
- 3 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 4 届出書及び別紙の大きさは、図書、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。
- 5 氏名（法人にあってはその代表者の氏名）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあってはその代表者）が署名することができる。

(別紙1)

ばい煙発生施設の構造

工場又は事業場における施設番号			
名称及び型式			
設置年月日		年 月 日	年 月 日
着手予定年月日		年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日		年 月 日	年 月 日
規模	伝熱面積 (㎡)		
	バーナーの燃料の燃焼能力 (重油換算 l/h)		
	原料の処理能力 (t/h)		
	火格子面積又は羽口面断面積 (㎡)		
	変圧器の定格容量 (KVA)		
	触媒に附着する炭素の燃焼能力 (kg/h)		
	焼却能力 (kg/h)		
	乾燥施設の容量 (m³)		
	電流容量 (KA)		
	ポンプの動力 (kW)		
	合成・漂白・濃縮能力 (kg/h)		

- 備考 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 規模の欄には、それぞれ該当する項目について記載すること。
- 3 ばい煙発生施設の構造概要図を添付すること。概要図は、主要寸法を記入し、日本産業規格A4の大きさに縮小したもの又は既存図面等を用いること。

(別紙2)

ばい煙発生施設の使用又は管理の方法

工場又は事業場における施設番号							
使用状況	一日の使用時間及び 月使用日数等	時～時 時／回回／日日／月			時～時 時／回回／日日／月		
	季節変動						
原材料 (ばい煙 の発生に 影響のあ るものに 限る。)	種類						
	使用割合						
	原材料中の成分割合 (%)	いおう分 カドミウム分	鉛分 弗素分		いおう分 カドミウム分	鉛分 弗素分	
	一日の使用量						
燃料又は 電力	種類						
	燃料中の成分割合 (%)	灰分	いおう分	窒素分	灰分	いおう分	窒素分
	発熱量						
	通常の使用量 (l/h、N m ³ /h、kwh)						
	混焼割合						
排出ガス量 (N m ³ /h)		湿り	最大	通常	最大	通常	
		乾き	最大	通常	最大	通常	
排出ガス温度 (℃)							
排ガス中の酸素濃度 (%)							
ばい煙の 濃度	ばいじん (g/N m ³)	最大	通常		最大	通常	
	いおう酸化物(容量比 ppm)	最大	通常		最大	通常	
	カドミウム及びその化合物(mg/N m ³)	最大	通常		最大	通常	
	塩素 (mg/N m ³)	最大	通常		最大	通常	
	塩化水素 (mg/N m ³)	最大	通常		最大	通常	
	弗素、弗化水素及び弗化珪素(mg/N m ³)	最大	通常		最大	通常	
	鉛及びその化合物(mg/N m ³)	最大	通常		最大	通常	
	窒素酸化物 (容量比 ppm)	最大	通常		最大	通常	
		最大	通常		最大	通常	
		最大	通常		最大	通常	
ばい煙量	いおう酸化物 (N m ³ /h)	最大	通常		最大	通常	
参考事項							

- 備考 1 原材料中の成分割合 (%) の欄及び燃焼中の成分割合 (%) の欄の記載にあたっては、重量比%又は容量比%の別を明らかにすること
- 2 ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
- 3 ばい煙の濃度は、ばい煙処理施設がある場合は、処理後の濃度とすること。
- 4 参考事項の欄には、ばい煙の排出状況に著しい変動のある施設についての一工程中の排出量の変動の状況、窒素酸化物の発生抑制のために採っている方法等を記載するほか、ガスタービン、ディーゼル機関、ガス機関又はガソリン機関については、常用又は非常用（専ら非常時において用いられるものをいう。）の別を明らかにすること。

(別紙3)

ばい煙の処理の方法

ばい煙処理施設の 工場又は事業場における施設番号						
処理に係るばい煙発生施設の 工場又は事業場における施設番号						
ばい煙処理施設の種類、名称及び形式						
設 置 年 月 日				年 月 日	年 月 日	
着 手 予 定 年 月 日				年 月 日	年 月 日	
使 用 開 始 予 定 年 月 日				年 月 日	年 月 日	
処 理 能 力	排 出 ガ ス 量 (Nm^3/h)	湿り	最 大			
			通 常			
		乾き	最 大			
			通 常			
	排出ガス温度 ($^{\circ}\text{C}$)	処 理 前				
		処 理 後				
	ばい煙の濃度		処 理 前			
			処 理 後			
			処 理 前			
			処 理 後			
			処 理 前			
			処 理 後			
			処 理 前			
			処 理 後			
	ばい煙量 いおう酸化物 (Nm^3/h)	最大	処理前			
			処理後			
		通常	処理前			
			処理後			
	補集効率 (%)					
密 閉 化 の た め の 措 置 内 容						
使用状況	1 日 の 使 用 時 間 及 び 月 使 用 日 数 等			時～ 時 時間/回 回/日 日/月	時～ 時 時間/回 回/日 日/月	
	季 節 変 動					
排 出 口 の 高 さ H_o (m)						
補正された排出口の高さ H_e (m) 及 び 頂 上 口 径 D (m)						
排 出 速 度 (m/s)						
敷地境界までの最短水平距離 (m)						

- 備考 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合は設置年月日の欄に、それぞれ記入すること。
- 2 ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
- 3 補正された排出口の高さ H_e は、滋賀県公害防止条例施行規則別表第8の算式により算出すること。
- 4 ばい煙処理施設の構造図とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。